

おくたま 町議会だより



163号

平成24年11月5日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月11日から9月21日までの、会期11日間にわたり開催されました。

平成23年度決算の認定

平成23年度の各会計の決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間に亘って行われた決算審査について、滝島勇一代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く、10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。9月18、19日の2日間にわたり決算特別委員会が開会され、内容説明、質疑等が行われ、21日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号

一般会計

○認定第2号

都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

監査委員決算審査意見報告

(町長への審査意見書を要約して掲載)

平成23年度の奥多摩町の全8会計の決算書類は、関係法令

に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び会計伝票等証拠書類と照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況、及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入・歳出とも妥当であったことを認める。

審査意見としては、まず役場は町で最大の予算規模を持つ組織であり、その予算の使い方次第で町の将来が決まる。そして他の市町村と同様に、町の将来に観光業以外の選択肢がないことも事実である。従って議員及び職員各位は、必然的に観光業振興の中心的役割と責任を担っていることを、各々肝に銘じる必要がある。さし当り、新、鳩の巣荘の成否が町の将来を左右する鍵になる。老朽化した国民宿舎の建て替えという微視的な議論ではなく、町全体の発展に資するための第一歩という位置づけを明確にし、十分な情報開示の元に住民の賛同を得る必要があり、失敗が許されないことは当然である。

決算特別委員会質疑

(質疑を箇条書きで掲載)

○一般会計

歳入

- ・法人税、たばこ税が増額した要因
- ・農林水産施設使用料の未収金の内容
- ・丹三郎特産物販売施設の活用状況
- ・海沢体験農園の今後の見通し
- ・東京都総合交付金に係る町の取り組みに対しての都の評価
- ・臨時財政対策債の今後の見通し

歳出

- ・町づくり住民アンケート調査の活用状況
- ・救急医療情報キットを必要としない人の状況
- ・ファミリースポーツセンター利用助成事業の実績が少ない理由
- ・保健推進活動事業補助金が少額である理由

- ・フッ化物洗口推進事業の方向性
- ・多摩の森林再生事業、花粉症発生源対策事業の不用額の内容
- ・登計トレイル清掃委託料、公衆トイレ清掃委託料の考え方
- ・森林セラピー地域振興事業補助金の内容
- ・ふれあい広場事業の内容
- ・消防団員報酬を広域で同額とする考え方
- ・消防団用燃料、食料の備蓄の必要性
- ・防災会議委員報酬の不用額が発生した理由
- ・基礎学力を育む学校づくり交付金の内容
- ・青少年対策事業費と保健体育総務費の体育協会補助金の内容
- ・民家模型修復等工事の内容
- ・水と緑のふれあい館のホームページの活用状況
- ・スポーツ推進委員報酬増についての考え方
- ・町が出資している団体の財政状況の把握

○都民の森管理運営事業特別会計から国民健康保険病院事業会計

特に質疑はありませんでした。

他の町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により可決又は同意しました。

条 例 等

○議案第54号

子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○議案第55号

ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○議案第56号

介護保険地域支援事業利用者負担条例の一部を改正する条例

○議案第69号

鳩の巣荘の指定管理者の指定の変更について

補 正 予 算

○議案第57号

一般会計(第2号)

○議案第58号

都民の森管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第59号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第60号

国民健康保険特別会計(第1号)

○議案第61号

後期高齢者医療特別会計(第1号)

○議案第62号

介護保険特別会計(第1号)

○議案第63号

下水道事業特別会計(第1号)

— 工事・物品購入契約 —

○議案第65号

奥多摩処理区下水道管渠建設
工事その23請負契約につ
いて

○議案第66号

塵芥収集車購入契約につ
いて

○議案第67号

小型動力ポンプ付積載車購
入契約について

○議案第68号

登計原総合グラウンド天然芝
生化新設工事請負契約の変
更について

— 人 事 —

○議案第64号

教育委員会委員

教育委員会委員、木村光恵氏、
栃元 誠氏の任期満了に伴い、
両氏を任命することに同意し
ました。

・木村光恵氏（再任）

（奥多摩町氷川1479番地）

・栃元 誠氏（再任）

（奥多摩町氷川1377番地1）

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、全議員
の賛成により可決されました。

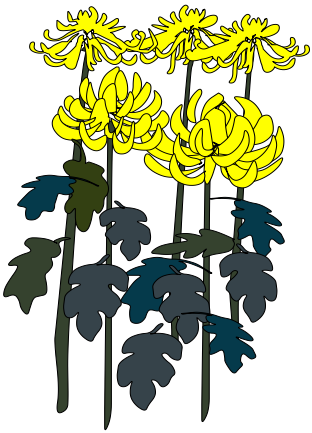
○議員提出議案第3号

地球温暖化対策に関する「地
方財源を確保・充実する仕組
み」の構築を求める意見書

陳情の取り扱い

— 不採択としたもの —

○原発問題に関する陳情



一般質問

24年9月議会では、14日
の2日目に8名の議員が質
問を行いました。（通告順）

高橋邦男議員

ごみ処理事業について

（答）自治会で資源回収を行っ
ていただけるとお聞きしている。
生ごみ処理機の設置は難しいた
め、家庭用コンポストの利用促
進を図っていききたい

高橋 ①自治会に協力を仰ぎ、

自治会による「資源回収」の実
施ができないか②生ごみ処理施
設を設け、町で生ごみを処理す
ることができないか

町長 ①当町の資源ごみは、昨
年1年間で686トンであった。そ
のうち資源回収は10団体で実

施され、全体の約7・4%、51

トンであり、残りの92・6%は
町が収集し処理している状況に
ある。しかし、本年10月からは
自治会において資源回収を実施
していただけると、自治会連合
会からお話をいただいております、

資源回収の内容については各自
自治会でPRしていただき、紙類
を始め、ビン、缶、ペットボト
ルやトレー等のプラスチックも
資源回収する計画と聞いている。

②生ごみのみ分別回収すること
は、収集時間や人員の確保、車
両も別に確保しなければならず、
ごみ処理機の設置費用や運営費
等も必要となることから、処理
機を整備することは難しいと考
える。一般家庭で生ごみが処理
できるコンポストの利用促進を、
今後も図っていききたい。

鳩ノ巣駅の北改札口開設につ
いて

（答）JR側の条件を満たして

の開設は不可能と考えている。
バリアフリーの観点から、改札

口のないスロープの設置について、要望を続けている

高橋 北改札口を町が直接整備し、その後JRに寄贈するといふJR側の条件提示について、町の見解は。また、その後の要望等の経過は

町長 公金で整備した施設を無償で民間企業に贈与することについて、東京都からは支援は認めない旨の指導を受けており、財源手当を含めた整備の手法そのものが難しく、JR側の条件を満たしての開設は不可能と考えている。このため、平成19年度からは西多摩地域広域行政圏協議会の要望として、バリアフリーの観点から、柵沢コミュニティセンター側から改札口のないスロープを設置していただくようお願いしている。平成23年度からは「重点要望事項」に取り上げ、今年も8市町村長でJR八王子支社に向いて行った要望活動の際にも、私から直接、北口ホームの改善について要望

した。今後も引き続き要望活動を続けていきたい。

師岡伸公議員

サテライトオフィスの誘致による活性化と雇用確保の可能性について

（答）たいへん魅力がある考え方であり、助成制度の内容等を調査・研究し、オフィス誘致の可能性を検討していきたい

師岡 ①サテライトオフィスに関する過去における調査研究、また、アンケート等、企業への働きかけは②Uターン、Iターン促進の一助としての位置付けは③遊休施設の今後の方向とサテライトオフィスの可能性について

町長 ①サテライトオフィスとは、企業等が本拠地から離れた場所に設置するオフィスのことで、本拠地を中心として見たと

きに衛星（サテライト）のよう存在するオフィスという意味で命名されたものであるが、現在の時点では具体的な調査、研究までには至っていない状況である。アンケートについても、

町のホームページ等を利用し、アンケート調査フォームを掲載することで企業からの意向調査を行う方法等が考えられるが、現時点では実施していない。

②オフィス誘致による効果のひとつが、地域の雇用の創出や町への人口流入であることから、議員がお尋ねのとおり、誘致の条件として家族での移住や地元住民、もしくは地元出身者の雇用を義務付ける、等の位置付けが必要になると考える。

③今後、遊休町有施設、町有地の有効活用は当然考えていかなければならないが、古民家等をオフィスに転用するという考え方は、むしろ町の空家バンクに登録された空家等を利用することで、施設改修も少額で済み、その後のランニングコストも抑制できると思われる。

杉村良一議員

もえぎの湯へのカーボン・オフセット・クレジットの適用について

（答）現在クレジットの申請を行っているところである。制度が今年度末で終了となるため、新たな制度が創設された場合には有効に活用していきたい

杉村 木質バイオマスボイラーの設置により、クレジット制度が適用可能となった。現在の進捗状況と将来の展望は

町長 もえぎの湯のチップボイラーによるCO2排出削減に関しては、現在国内クレジット認証委員会へ事業計画書を申請しているところであり、承認されると来年4月に実績報告書を提出し、報告書の審査を受けてクレジットが承認される予定となっている。国内クレジット制度では、CO2削減量1トン当た

り1千500円で取引される関係から、もえぎの湯の年度末までの排出削減量を208トンと計画しているので、31万2千円のクレジット金額を見込んでいます。

カーボン・オフセット・クレジット制度は、今年度末でいったん終了となり、現在国において新たな制度を創設するための検討を行っているので、新制度の設計の行方を注視しつつ、新たな制度が創設された場合には、有効に活用していきたいと考えている。

原島幸次議員

登計原総合運動公園への障がい者トイレの設置について

（答）総合運動公園、セラピールードを含めて、障がいをお持ちの方のご来場が増えると考えられ、障がい者用トイレの設置場所、設置方法等について早急に検討を行う

原島 多くの町民の皆さんに登計原総合運動公園を利用していただくためにも、障がい者用トイレの設置を望む

教育長 現在の登計原総合運動公園のトイレには、男性用に和式が1基、女性用に和式が3基、洋式が2基設置されているが、トイレの出入り口には段差があるため、車いすの方が利用するには厳しい状況にある。このため、町民体育祭やふれあいまつり等、多くの方が集まるイベントの際には、仮設の障がい者用トイレを設置しているところではある。これから先、総合運動公園、セラピールードを含めて、障がいをお持ちの方のご来場が増えると考えられ、さらに多くの方に総合運動公園をご利用いただくために、障がい者用トイレの設置は必要であると考えるので、設置場所、設置方法等について早急に検討を行う。

竹内和男議員

奥多摩の森林・林業の将来について

（答）「奥多摩町森林整備計画」に基づき、計画的に林道の開設や改良等を行うとともに、森林の保全や整備、林業や地域の振興を図るべく、着実に施策や事業を推進していく

竹内 ①森林・林業の振興には、林道網計画を充実させることが大切だと思うが②町の森林・林業の将来に向けて、具体的にどのような政策を進めていくのか

町長 ①林業経営や森林整備を行ううえで、林道が必要なことは十分承知しており、毎年東京都も含め林道整備を積極的に推進しているところである。また、平成23年度から33年度までを計画期間とする「奥多摩町森林整備計画」の林道整備の状況では、24路線の開設と26路線の改

良、11路線の舗装を計画しており、森林の整備や管理が効率的に進められるよう、林道整備を進める予定である。

②奥多摩町森林整備計画に、今後の町の森林整備の基本方針が定められているが、この計画は町の貴重な資源である森林や林業の将来像を定めたもので、適正な森林のエリア分けや林道整備の計画等が記載されている。その中で、地域を目指す森林資源の姿として、1点目は水源涵養機能を高める森林、2点目は山地災害の防止や土壌保全の働きを高める森林、3点目は保健・レクリエーション、文化、生物多様性功能を高める森林、4点目はすべての地域の人工林について、それぞれ目指すべき姿を定めている。今後も森林の保全や整備、林業の振興に努めるため、また、貴重な森林資源を活用した地域の振興が図れるよう、この計画に基づき着実に町の森林に関する施策や事業を推進していく。

村木征一議員

余ヶ野鍛冶屋から大沢平石間に遊歩道の開設を

．．．．．
 (答) 安全性の確保が困難であり、非常に多額な財源が必要であることも含め、整備する考えはない

村木 余ヶ野鍛冶屋から大沢平石間には赤線があり、拡幅・改良、樹木の整備を行えば遊歩道の開設は可能であると思う。日原セラピーロードとして位置づけ整備したらどうか

町長 ご質問の区間は町道平石鍛冶屋線に認定されているが、急傾斜地であることから落石も多く、現在の町道を拡幅・改良するだけで遊歩道にすることは難しいと思われる、落石防護対策等を考えると、整備するには多額の費用が必要と考えられる。また、当町は森林セラピー基地として5本のセラピーロードを

有しているが、森林セラピーの基本である心と体の癒しのため、ロード自体が安全で安心してご利用いただけるということが最優先であると考えている。したがって、ご提案のあった町道を遊歩道とすることについては、非常に多額な財源が必要であることも含め、整備することを考えていない。

鳩の巣荘改築に伴う安全性の検討について

．．．．．
 (答) 急傾斜地の崩落について、危険度の高い箇所から順次安全対策工事を実施している。実施設計の中でも、さらなる安全対策が必要かどうか研究していく

村木 鳩の巣荘北斜面、国道411号線上部は特に急峻であり、落石や土砂災害について非常に危険な地域である。町は十分研究・検討をしておくべきである

町長 鳩の巣荘は急峻な地形に立地していることから、土地利

用に関する各種法的規制の検討は、当然のことながら行っている。急傾斜地の崩落による災害の防止に関する法律に基づく危険区域には、当該地は指定されておらず、砂防法による土地の形状を変える等の行為を制限する区域にも指定されていない。しかし、土砂災害防止法では当該地及び国道上部について、急傾斜地の崩落による警戒区域に指定されているので、指定された箇所については危険度の高い箇所から順次、法面(のりめん)工事等の安全対策を実施している。国道と都道の管理は東京都の管轄となり、西多摩建設事務所が定期的にパトロールを実施し、落石や亀裂等の確認を実施しているので、適切な安全対策の実施をお願いしていく。

改築する鳩の巣荘については、ボーリングによる地質調査も行い、耐震性を含めた建築基準法を満たす施設となるが、現在進めている実施設計の中で、さらなる安全対策が必要かどうかを研究していく。

奥多摩町の女性の日本一短命と多数の自殺者の発生の原因と対策について

．．．．．
 (答) 平均寿命と自殺者数の問題は、町民皆様の心と体の健康に密接に関係しているので、健診事業や自殺予防事業をさらに推進していきたい

村木 ①女性が短命日本一であるという平成17年度厚生労働省発表をどう捉え、原因の究明を行っているか②町の自殺者割合が東京都の約2倍となっているが、対策等が講じられないか

町長 ①現在公表されている厚生労働省の平成17年市町村別生命表の概況を見ると、当町の女性の平均寿命が82・8年で、全国で最も低く、最も高い沖縄県北中城村との差が6・5年という結果となっている。原因について特定できてはいないが、当町の主な死因別では脳血管疾患、心疾患が1、2番目に多く、「がん」での死亡者が3番目と

いう結果となっている。現在、日本ではがんによる死亡者が最も多く、発症してから長い年月をかけて死に至るがん比べ、発症から闘病期間の短い脳血管疾患や心疾患が多いことが、平均寿命を押し下げている原因の一つではないかという分析もなされている。今後も特定健診受診率の向上と、各種がん検診受診者数の増加をさらに推進することによって、平均寿命が延びていくものと考えている。

②約2倍という数字は人口10万人あたりに換算した数値であり、当町では年間に1人自殺者が増減しただけで、大きく数値が変動するものであることはご承知おき願いたい。しかし、何らかの手立てを講じることは緊急の課題であることから、平成23年度にはリーフレットを作成、全世帯に配布し、隣近所の皆様の支えが自殺予防につながることをお知らせしたほか、メンタルヘルスについての講演会を開催し、普及啓発活動を実施しているところである。

石田 芳英 議員

南岸道路完成後の南岸周辺の戦略的グランドデザインの構築について（観光活性化など）

（答）トンネルと橋梁以外の道路部分については、急傾斜地であり整備は難しい。町全域の施策を推進するなかで検討する

石田 道の駅、観光複合施設、駐車場の確保等、道路完成後の南岸地域の有効活用を図れ

町長 南岸道路完成後の総延長約7キロメートルのうち、トンネルと橋梁の延長は約5キロメートルとなる。残る2キロメートルの道路部分の周辺については、現状では山側、谷側ともほとんどが急峻な傾斜地となっており、観光施設等の整備は難しいと考えている。今後は町全域の長期的、総合的な観光施策を推進していくなかで、南岸道路周辺について検討していく。

役場庁舎の耐震化について

（答）観光産業課側は旧建築基準法により建設されている。今後耐震診断を行い、必要があれば耐震補強を行う考えである

石田 ①役場庁舎に耐震化がされていない部分があるか

②耐震化が不十分な範囲があった場合、今後どう対処するか

町長 ①②現在の役場庁舎は昭和58年に建設されたもので、以前に建設された建物を増築して建設したものである。このため、観光産業課側は旧建築基準法で建設され、住民課側は新建築基準法で建設されている。外観上は一体的な建物に見えるが、構造上は別の建物となっている。この方法で役場庁舎を建設することは、当時の東京都多摩建築指導事務所から指導を受け、建築確認申請も提出しているが、同事務所では東日本大震災を踏まえ、各市町村役場等においては耐震診断を行うよう要請もあ

ることから、今後、役場庁舎について耐震診断を行い、必要があれば耐震補強を行うよう考えている。

宮野 亨 議員

「介護支援ボランティア制度」の導入を

（答）現段階では費用対効果の問題から、また、ボランティアとしての地域住民の優しい心、絆の問題から、それらと合わせ調整しながら進めていきたい

宮野 過去2回の一般質問では、今後の研究課題とし、さらなる推進に努めていくとあるが、ボランティアのポイント制度の早期導入を望む

町長 過去の答弁では、この制度を実施するための事業費として、介護保険では地域支援事業交付金から支出することが決められているが、すでに交付金を

議 会 日 誌

超える事業を実施していることから、新たに財源を振り分けることが困難であることや、既存のボランティア活動への謝礼金等の調整が必要なことから、

今後の研究課題とさせていただきたいと申し上げ、ご了解をいただいている。介護支援ボランティア制度そのものは非常に良い制度であるとは思っている。

しかし、現在も限られた地域支援事業費をできる限り多くの事業に振り向け、地域の皆様にボ

ランティアとしてお手伝いいただきたいながら、事業を行っているところであり、そういう点では

地域の多くのボランティアをしていただいている皆様に、たいへん感謝をしているところである。いつかは制度そのものを制

度化しなければならぬと思うが、現段階では費用対効果の問題から、また、地域住民の優しい心、絆の問題から、それらと合わせ調整をしながら進めていきたいと思っている。

8 月

2日 東京都町村長・議長合同会議

6日 三多摩上下水及び道路建設促進

協議会第2委員会

7日 総務文教常任委員会（東京消防

庁立川防災施設視察）

10日 経済厚生常任委員会（町内及び

檜原村視察）

21日～23日

会派視察研修（福島県・宮城県・

岩手県・奥多摩維新会）

22日 国道139号松姫トンネル建設促

進連絡協議会総会

24日 下水道事業運営委員会

31日 おくてん開会式

三か町村連絡協議会

9 月

4日 議会運営委員会

9日 第68回国民体育大会リハーサル

大会

11日 第3回定例会（第1日）

12日 連合審査会

総務文教常任委員会

14日 第3回定例会（第2日）

議会運営委員会

15日 中学生海外派遣報告会

グリーンウッド敬老祝賀会

18日 第3回定例会（第3日）

決算特別委員会（第1日）

19日 決算特別委員会（第2日）

20日 消防連絡会

21日 第3回定例会（第4日）

23日 少年柔道大会

24日 三か町村結婚部会

28日 戦没者氷川地区慰霊祭

10 月

1日 官公庁等連絡会議

地域保健福祉計画検討協議会

10日 青梅防犯協会防犯のつどい

16日～17日

管外視察研修（長野県栄村）

18日 議会だより編集委員会

山ふる交流コンサート

19日 秋川衛生組合第2回定例会

西秋川衛生組合第2回定例会

秋の火災予防運動推進会議

21日 西多摩地区消防団幹部研修会

23日 東京都道路整備事業推進大会

24日 圏央道建設促進会議総会

三か町村結婚部会

27日 奥多摩ふれあいまつり

28日 農林産物品評会表彰式

編集後記



東北地方における牡蠣の養殖従事者は、海を守るために植林をし、森を大切にしています。山が生む栄養が川に流れ、それが海を育てます。高知県の仁淀川では広葉樹を毎年千本も源流域に植え、川の水質を保っています。この広葉樹の根による天然ダムは50年かけて結果がでるとの事です。森林と川と海は繋がって生態系を守り、そして私達の生活をも守っています。さて、今年は真夏日が異常に多く、東京でも10月に真夏日を記録しました。雨の降り方も局地的なゲリラ豪雨で、その被害も「こんなことは初めて」という感想が全国各地で述べられました。梅雨らしい雨の降り方があってこそ生態系が守られます。私達、奥多摩の森林もしっかりと守っていく必要を強く感じた夏でした。

（師岡 伸公）

竹内 和男 須崎 眞

高橋 邦男 杉村 良一